

令和5年度 えびの市立上江小中学校 重点指導項目			成果と課題
【学校教育目標】 主体的に活動するたくましい上江っ子の育成			
【めざす児童生徒像】 ○礼儀正しく、元気のある子 ○目標をもって、自ら学ぶ子 ○気づき、考え、行動する子			
項目	重点目標と主な達成手段	具体的な取組と達成目標	
学力の向上	<p>【目標】 児童・生徒が主体的に学ぶ(学ぼうとする)力を高める。</p> <p>【手段】 主体的・対話的な授業を実践するとともに、個に応じた指導方法の工夫を図る。</p>	<p>【具体的な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 小中で系統性・継続性のある教育課程の実施・充実を図る。小中教員による乗り入れ授業を実施する。 (小→中・・音楽 数学 英語 中→小・・家庭科 保健体育 算数 )</li><li>○ 個に応じた指導を充実させるために、算数・数学科において、少人数指導やT Tの授業を実施する。</li><li>○ 1人1回の授業研究を行い、授業の工夫改善(授業力向上)に努める。空き時間を利用して、見たい授業を参観する。</li><li>○ 学びの確認週間を充実させる。</li></ul> <p>【達成目標】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 全国・県及び市の学力検査でそれぞれ平均点以上を目指す。</li></ul>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 8割の教科で、県や市の平均点を上回った。算数・数学においては、T Tでの授業の成果もあり、下位層の児童生徒が少なくなっている。子どもたちは、意欲的に授業に取り組んでいる。</li></ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● アクティブラーニングやグループ学習などを取り入れ、考えを伝え合ったり、教え合ったりしているが、今後さらに、児童・生徒が主体となった学習を展開しなければならない。</li></ul>
豊かな心の育成	<p>【目標】 児童・生徒が豊かな心をもって行動する力を高める。</p> <p>【手段】 元気のよいあいさつの励行と基本的な生活習慣の定着と読書活動の推進を図る。</p>	<p>【具体的な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 主体的な「あいさつ運動」を通して、元気よく あいさつすることができる児童・生徒の育成を図る。</li><li>○ 読書推進の工夫やビブリオバトルなどの活動を通して、読書への意欲付けを行う。</li><li>○ 「ピア・サポート活動」に関する教育活動を行い、思いやり、助け合い、支え合う人間関係を育んでいく。</li></ul> <p>【達成目標】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 徳に関するアンケートで8割以上の児童・生徒が肯定的に回答する。</li><li>○ 読書量昨年度並</li></ul>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 児童・生徒の自己肯定感は昨年度と比べ、高まっている。(R4・・82 % R5・・92 %)</li><li>○ 主体的に考え、行動できる児童・生徒が見られる。また、子ども同士のトラブルもほとんどなく、円滑な人間関係が育まれつつある。</li></ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 読書量は、昨年度と比較すると減少傾向にある。家庭での読書推進を図っていきたい。</li></ul>
体力の向上	<p>【目標】 自己管理能力や体力を高める。</p> <p>【手段】 体力づくり活動の実践と自己管理能力の育成、立腰指導の充実を図る。</p>	<p>【具体的な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 体力向上プランをもとに保健・体育学習の充実を図り、運動の楽しさを味わわせるようにする。</li><li>○ 合同運動会や合同ロードレース大会・縄跳び月間に向けて体力を高める意欲をもたせる。</li><li>○ 感染症対策や熱中症対策、睡眠時間の確保など自己管理能力を高める。</li><li>○ 授業の始まりと終わりに立腰指導を行い、立腰姿勢の習慣化を図る。</li></ul> <p>【達成目標】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 体力テストで昨年度以上の結果を目指す。</li><li>○ 遅刻・欠席を減らす。</li></ul>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 体力テストの下位層の減少と柔軟性が伸び、全体的に体力は向上していると言える。</li><li>○ 感染症で大きな拡がりは見られなかった。各自の感染症対策や熱中症予防など自己管理能力が身に付きつつある。</li></ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 遅刻・欠席については、よくなっている児童・生徒もいれば、欠席が増えてきている生徒もいる。個々に合った対応を継続支援していかなければならない。</li></ul>
地域に貢献する人材の育成	<p>【目標】 郷土に誇りをもち、人のために尽くす力を高める。</p> <p>【手段】 「えびの学」を充実させるために、地域と連携した教育活動を行う。</p>	<p>【具体的な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 地域学校協働活動や関係機関の外部講師を活用し、学習をより効果的・効率的に行う。</li><li>○ 「えびの学」を通して、えびののよさを知り、そこで働く人のやりがいや苦労を理解することで、キャリア教育を充実させる。</li><li>○ 児童会・生徒会活動を通して、主体的な活動を促し、達成感や成就感を味わわせる。地域貢献活動を通して、地域に感謝する気持ちを高める。</li></ul> <p>【達成目標】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 各学年・各学部で体験学習や地域貢献活動を実施する。</li></ul>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 児童・生徒のえびのに対する関心・知識は高い。えびの学での学びがよい影響を与えている。上江交流フェスティバルでは、人を喜ばせるよい体験になった。</li></ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 社会の変化に対応したキャリア教育を今後も計画的に実施し、「自分の生き方」について、考えさせたい。</li></ul>